

幼稚園だより

12月号

令和2年11月30日

荒川区立花の木幼稚園

園長 岩崎 昇

【私の子ども観】



子どもはダイヤモンド

園行事を再開しました

園長 岩崎 昇

連日の感染者拡大の報道を聞くたびに、気を引き締める毎日です。幼稚園としても、再度一連の約束事を再確認しているところです。

さて、そのような中、先月11月には、年中児と年長児での芋ほり遠足、全園児対象の観劇会（例年は親子観劇会）、全園児での足立区生物園遠足を実施することができました。どの行事でも子どもたちの喜ぶ姿、楽しむ姿を見ることができ、実施できて本当に良かったと感じています。お芋ほりでは、お芋を掘れた瞬間の達成感に満ち溢れた子どもたちの表情が印象的でした。年長組の部屋には、お芋を掘ってきた時の様子が絵に描かれ掲示されています。また、観劇会では、迫真の劇に子どもたちも吸い込まれるように劇の世界に入り込んでいたようです。本物は違います。生物園では、それぞれがお気に入りの生物を探せたようです。好みもそれぞれ違っていいですね。

寒い季節となりました。新型コロナウイルスだけでなく、その他の感染症にも十分気をつけ、手洗いうがいを心掛け、細心の注意を払いながら保育を続けようと思います。

今月の保育のねらい

《3歳児：ひよこ組》

- ・友だちと一緒に、同じ遊びをする楽しさを味わう。
- ・冬の行事に興味をもち、喜んで参加する。

《4歳児：こあら組》

- ・簡単なイメージやルールを共有しながら、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- ・冬ならではの行事や季節感を、友だちと一緒に楽しむ。

《5歳児：いるか組》

- ・友だちと共通の目的に向かって意欲的に取り組み、充実感や達成した満足感を味わう。
- ・冬の自然や年末の行事に関心をもち、遊びに取り入れて楽しむ。

